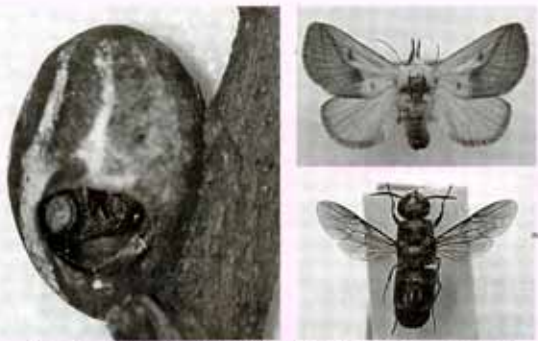


イラガセイボウ

(ハチ目セイボウ科)

落葉したウメの枝などに、硬い鳥の卵のようなものが見られます。幼虫の時に触れるとピリッと痛い、イラガの繭です。この蛾に寄生するハチが今回の主人公です。漢字で「刺蛾青蜂」と書きます。体長は1cmほどで、イラガに寄生し、全身が青緑の金属光沢を持ちます◆セイボウ科のハチは、それぞれ他の数種のハチに寄



イラガの繭とセイボウ脱出口(左)、イラガ成虫(右上)、金緑青色のイラガセイボウ成虫(右下)

生する寄生バチですが、イラガセイボウだけはイラガ(蛾)に寄生します◆虫の世界では「全ての虫に、それに寄生するハチ・ハエがいる」と言われています。イラガにも寄生するハチ・ハエが数種類います。その中で最も美麗なのがこのイラガセイボウです◆近年、外来種のヒロヘリアオイラガに押されて減少ぎみのイラガですが、実はイラガも古い外来種と言われており、イラガだけに寄生するイラガセイボウも外来種ということになります◆普段、あまり見かけませんが、観察するのは比較的容易です。冬にイラガの繭を集めてフィルムケースなどに保存しておくと、成虫が6月頃に出てきます。寄生率は40%ほどなので、確実に見るためには10個ほど集める必要がありますでしょう。イラガも羽化してきますが、幼虫と違い成虫には毒はありません。イラガセイボウの針(産卵管)は太く柔らかいので、こちらも刺される心配はありません。美しい虫なので、ぜひ一度、観察してみてください。

(草間 岳彦)

おごせ アートミュージアム



平成24年度
第47回郷土を描く児童生徒美術展
知事賞

1年2組 ^{おりはら}折原 ^{ひろみ}大海 さん
『白い花と水車』

越生中学校

12月の納税

町 県 民 税 第4期
国民健康保険税 第6期
(12月25日まで)

人口と世帯

11月1日現在 ()は前月比
総人口 12,648人(-16)
男 性 6,306人(- 3)
女 性 6,342人(-13)
世帯数 4,923世帯(+ 2)

表紙でも紹介していますが、去る11月18日、防災訓練を実施しました。昨年は雨天により中止したため、2年ぶりの訓練実施ということ、多少の不安もありましたが、みなさんの協力により無事開催することができました。ご協力いただいた全てのみなさんに、この場を借りて感謝申し上げます。
さて、今回は訓練ですので、事前に準備を重ねることができましたが、『災害は忘れた頃にやってくる』ものです。実際の災害に備えるためには、日頃の準備と心構えが非常に大切です。この機会に、ご自宅の災害対策を今一度確認してみたいかがでしょうか。(月)

あとがき